

令和8年度 第8回 神戸市文化財保存活用地域計画協議会議事要旨

1. 日時 令和8年6月30日（火）15時00分～16時50分
2. 場所 神戸市役所1号館 19階大会議室
3. 出席者 （委員） 8名
（オブザーバー） 兵庫県教育委員会文化財課 1名

【議事要旨】

2. 報告

（1）令和7年度事業

（2）令和8年度事業予定

〔事務局より事業を報告及び説明〕

【委員意見】

（委員長）：神戸歴史遺産が制度として定着してきた。神戸歴史遺産認定の先に指定や登録等是有り得るのか。

（事務局）：地域から申請してもらう制度のため、周知されていないものを発掘するという目的もあるとともに、地域が保存しようという気持ちを合わせたうえで神戸歴史遺産に認定している。文化財的な価値づけができれば今後指定等にもっていく可能性もある。

（委員）：海軍営の碑は地域にでも歴史的意義がわからないことも多く、認定を糸口にした。価値を知ること、知ってもらうことが大切。

（委員長）：石碑については文字が消えていることも多いため、読み下し文を照らし合わせて見ることができるという。

（事務局）：神戸歴史遺産ホームページの概要書には読み下し文を掲載している。

（委員長）：現地で見ることができた方がいいので、今後検討してほしい。

（委員）：伝えたい方や対象となる方に届くプロモーションと、認知・広報活動が重要。若いうちは様々なことを吸収しやすいので、小学生などを対象にすればよいのでは。教育旅行は体験をプログラム化している。広報活動と体験プログラムは相乗効果で広く知れ渡る。大挙して来ってもらうものではなく、来てほしい特定の層をターゲットにするという。

（事務局）：文化財建造物の修理事業の場合、修学旅行生の見学は難しいが、公開の建造物や五色塚古墳などは、地域の学校園とは今後も連携していく。

3. 協議事項

（議事1）神戸市文化財保存活用地域計画（第I期）5年目の見直しについて

（事務局）：〔当計画策定以後に新たな事業が進展しつつあることから、「文化財の保存・活用に関する措置」に追加検討している2件について説明〕。

【委員意見】

①「山城プロジェクト」について

(委員)：発掘されたものは多くあるのか。出土品の展示はどうしているか。

(事務局)：端谷城以外の城はあまり発掘調査が行われていない。各城跡付近には展示施設が無く、現地では出土品の展示はできないので、昨年度、山城に関する展覧会を埋蔵文化財センターで実施した。この事業で、AR アプリ作成を計画しているのは、山城では地表面上には建物などの遺構があまり残っておらず現地でもわかりにくいこともある。

(委員)：出土遺物は現地では展示できないし、現地に城跡とわかる痕跡がなければ、そのままでは山城とはわからない。AR による復元を検討してほしい。

(委員)：山城プロジェクトは誰が主導しているか。山城は放っておくと木が繁茂して人が入れなくなくなる。播磨では各山城でそれぞれの地元が個々に看板を建てている。それぞれがつながりを持って活用するようなものにすることが望ましい。

(事務局)：滝山城は市有地ということもあり行政主導で、文化スポーツ局とは別の部局が整備した。そのほかの多くの山城は私有地で、地元にとって身近なものと思うので、今後地元と一緒に事業を進めていくことも必要と考える。

(委員)：地域の小学生に働きかけるイベントを行うのもよいと思う。

(委員)：アプリは「山城へ GO」は西播磨が主体のアプリか？一般の方が投稿できるアプリか？アプリの整備費用はどこが持つのか？

(事務局)：このアプリは西播磨県民局が制作したもの。そのベースを利用してもらい、神戸市域分は神戸市が制作してこのアプリに追加する予定。一般の方が投稿して、情報発信ができるものではない。このアプリは「ヤママップ」とも連動している。このアプリに関連して山城ファンクラブが組織されており、地域の機運を高めながら地域とも連携することを進める。

②海軍操練所跡の保存・活用について

(事務局)：〔海軍操練所跡暫定整備計画の経緯について説明〕

(委員)：海軍操練所跡と近代神戸港は別物と思われるかもしれない。説明が無ければ誤解を招くので、なぜ開港時に神戸に港ができたのかをわかるように伝えてほしい。

(事務局)：幕末から近代までの港の連続性がわかるような展示の構成になるよう、港湾局等とも連携して検討していきたい。

(委員)：海軍操練所の活用についてはハード整備だけの話かと思った。ソフト面について例えばガイドの養成や、受入れの整備（対応窓口）が必要。

(委員)：教育旅行は神戸でしか得られない学びを紹介している。班別行動の学生がふらっと来て学べる施設・展示にしてほしい。

(委員)：学校の歴史教育で学んでいる事に合わせて、教育活用に向けて準備を進めてほしい。

(事務局)：貴重なご意見として承る。

(委員長)：説明のあった2件について「措置」に追加してよいか。

(委員全員)：〔了承〕

(議事2) 神戸市文化財保存活用地域計画(第2期) の策定に向けて

(事務局)：現在の第1期計画では取り組めていなかった、「文化財保存活用支援団体の指定」及び「関連文化財群」及び「文化財保存活用区域」の3点について検討。区域を定めて区域内の文化財の保存と活用を図る制度としては、神戸市独自の制度である「文化環境保存区域」の制度と文化財保護法に基づく「重要伝統的建造物群保存地区」の制度があるため、新たに区域を定める「文化財保存活用区域」を検討するより、ストーリーを素にして市内の文化財をまとめる「関連文化財群」を検討していきたい。

その1事案として「(仮) 神戸開港と神戸の近代化に関する関連文化財群」を挙げて説明。

[委員意見]

(事務局)：昨年度の協議会で、「ひょうご神戸B&Sプログラム」を文化財の活用事例としてご紹介いただいたが、どのような状況か

(委員)：「ひょうご神戸B&Sプログラム」については主に修学旅行高校生が対象の街歩きのプログラム。年間1万人ぐらいが利用。大学生がガイド役として高校生に同行。企業の就業体験なども含め、新たなプログラム開発も併行している。対象を中学生まで落としていくことや・時期・ボリュームを考えて開発することも考えられる。

(事務局)：港湾局とも情報を共有し、今後照会させていただきたい。

(委員)：金星観測記念碑は内容がわかりにくい、現地で地元の高校生や高校の先生に説明いただいたりしている。

(委員)：「近代神戸発展の起点」がキーワードだと思うが、今回の例示は西洋系のものばかりで、アジア系等(中華系・イスラム系など)入っていない。多種多様な異文化が入ってきたことで神戸地域がどう変化したことが見えにくい。核としての「神戸開港と神戸の近代化に関する関連文化財群」の設定はわかるが、「神戸開港と神戸の近代化」は神戸の複雑な歴史文化をまとめる入口とし、古代・中世や震災も含めて様々な文化財もまとめる柔軟性のある枠組みにしたらどうか。

(委員長)：当計画中に神戸の歴史文化の特徴の一つとして挙げてある「多文化共生のまち」を示す必要があるだろう。

(委員)：摩耶山城を地域としても掘り下げたいが、どのように城の情報を集めたらよいのかわからないので、扱いたいけど扱えないテーマである。

(事務局)：山城は伝承のみで具体的なことが不明な場合が多く、現地に残っているものが少ない。レーザー測量による赤色立体図などを活用しながら、現地を確認することの積み重ねが必要。今後、調査した情報を活用できるよう、その公開も含め考えていきたい。

(事務局)：当課に属する専門職は、文化財保護行政を進める体制の専門職であるため、特定分野に知識が深い担当者はいるが、特定分野の研究職ではなく、幅広い知識が必要である。

レファレンス機能は今後の課題とさせていただく。

(委員長)：市民の歴史に関する疑問について受ける仕組みは必要。情報を公開することで、より詳しく知りたいという欲求があるもの。市民の問い合わせに対してどう答えるかは必須。本計画を運用していく中で、専門職の在り方も踏まえて考えていく課題と思う。

(事務局)：〔「関連文化財群」の設定が考えられる他のテーマ案について説明〕

(委員長)：今後、次期計画での「関連文化財群」の設定に向けて、六甲南麓の旧市街地地域だけでなく、市域西部・北部の文化財を核とする「関連文化財群」の検討も必要。

無形文化財・民俗文化財の議論も今回は抜けていたので、今後必要。

当協議会は様々な立場の方からの意見を頂戴する場であり、神戸市の地域計画は全国から注目されているので、その役割は大きい。

【オブザーバー（兵庫県教育委員会文化財課）の講評】

神戸の特徴である山と海それぞれをバランスよく進めていると思う。箱木家住宅が国宝指定への答申を受けたことは、兵庫県としても喜ばしい。国宝指定の答申は姫路市と共同で実施した再調査等が基礎となつてかなったもの。このような調査成果が文化財ガイドの素材となるもの。

兵庫県内では 15 市町が保存活用地域計画策定済で 3 市が計画中。現在、全国最多の数で、すでに第 1 期が終わりの時期を迎えた計画もある。

兵庫県では人材育成としてヘリテージマネージャー育成制度があり、制度を運営している団体は県の手から離れ自走して活動している。新しくは民俗文化財のヘリテージマネージャーが令和になってから始まった。これらが地域計画による文化財保護に役立てることができればと思う。今年、数年ぶりに様々な技術に関する「兵庫の諸職」の追跡調査を実施する。この調査成果も地域計画に役立ててもらえればと思う。